



# 学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだこと

を生涯の誇りにできる生徒の育成

創立70周年3月号平成30年3月23日

狛江市立  
狛江第一中学校

(早稲田大学連携協力校)

狛江市和泉本町2-15-1

TEL 03(3480)0121

## 今ある命を輝かせる

校長 樋口豊隆

第71回卒業式は雨の卒業式となりました。振り返ってみると、卒業した3年生は雨の多い学年だったと思います。雨模様の入学式、1年生の飯ごう炊飯、2年生の移動教室、球技大会、70周年記念式典等々。雨が印象的な学年でしたが、70周年にふさわしい素晴らしい卒業式を作ってくれました。

卒業式前日3月19日最後の学年練習での歌声は、私が聴いてきた限りで言えば、初めて男子の歌声が女子の歌声を包み込む素晴らしいハーモニーを聴かせてくれて圧倒されました。

一中生は3年生になって急激に成長していきますが、3年生たちが最後の最後に見せてくれた力の結集は、1・2年生に最高のプレゼントをしてくれたと思います。素晴らしい3年生の姿を見て、自分たちもこうなりたい、自分たちは先輩を越えたい、この思いが今の一中の伝統として受け継がれています。

1・2年生が来年度、どのように成長していくか、生徒達の成長を楽しみにしています。

3月12日、石巻から「命のかたり部」高橋匡美（きょうみ）さんに来ていただきました。3・11を忘れない全校集会であるとともに、あと一週間で卒業していく3年生へメッセージを贈る機会でもあります。

高橋さんは震災でご両親を亡くされ、3年間家から外に出ることができなかつたとおっしゃっていました。被災地は「壊滅地区」と認定され、ボランティア支援も物資の支援もなかった。「誰も私の気持ちをわかってくれない、誰も助けてくれない」と怒りの感情だけがあったが、3年後、おそろおそろドアを開けて、語り部を始めた。「自分は孤独じゃない。人を救うのは人なんだ。さしのべてくれた手を振り払わなければ、たくさんの人が助けてくれた」。だから、「自分はずらくても生きている。重荷を背負って生きている。そして重荷を引きずっても生きていく。どうか、今ある命を大切に、今ある命を輝かせてください」と生徒達へメッセージを贈ってくださいました。

1・2年生はこれからも一中で、3年生はこれから進む場所で、命を精一杯輝かせてほしいと願っています。

平成29年度が終わりました。本当にありがとうございました。



(3月19日 3学年練習)